

(海の羽根募金事業)

令和 6 年 度

海浜等清掃活動実施状況調査報告書 (要旨)

(令和 6 年 1 月-12 月活動実績)

令和 7 年 10 月

公益財団法人海と渚環境美化・油濁対策機構

1. 本調査票の配布先と回収状況

調査票は全都道府県（47 都道府県）に配布し、表 1 に示す 37 都道府県から回答を得た。

表 1 調査票の回収状況

整理 番号	都道府県名	回収	整理 番号	都道府県名	回収
1	北海道	○	25	島根県	○
2	青森県	○	26	岡山県	○
3	岩手県	○	27	広島県	○
4	宮城県		28	山口県	○
5	秋田県	○	29	徳島県	○
6	山形県	○	30	香川県	○
7	福島県	○	31	愛媛県	○
8	茨城県	○	32	高知県	
9	千葉県	○	33	福岡県	○
10	東京都	○	34	佐賀県	○
11	神奈川県	○	35	長崎県	○
12	新潟県	○	36	熊本県	○
13	富山県	○	37	大分県	○
14	石川県	○	38	宮崎県	○
15	福井県	○	39	鹿児島県	○
16	静岡県	○	40	沖縄県	○
17	愛知県	○	41	栃木県	
18	三重県	○	42	群馬県	
19	滋賀県		43	埼玉県	
20	京都府		44	山梨県	
21	大阪府	○	45	長野県	
22	兵庫県	○	46	岐阜県	○
23	和歌山県	○	47	奈良県	
24	鳥取県	○	回収数		37

注：網掛け部分は回答が得られなかった府県

2. 調査結果

(1) 活動回数

月別の活動回数と割合を図1及び図2に示す。

令和6年には、全国で27,799回(令和4年は16,935回、令和5年は17,193回)の清掃活動が行われた。特に6月、7月、9月は活動回数が多く、全体の約3割(30.8%)を占めた。また、5月から10月までの半年間で全活動の約6割(58.5%)が行われていた。

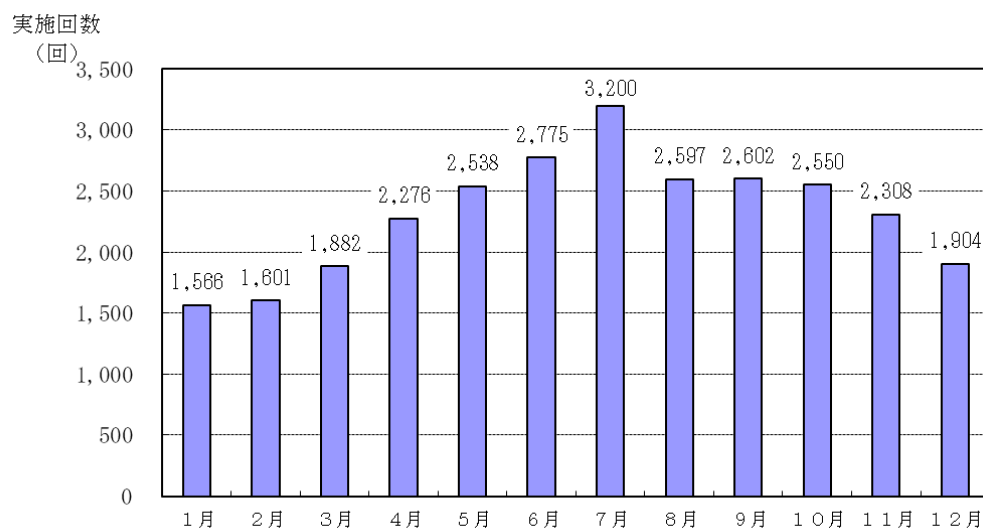


図1 月別活動回数

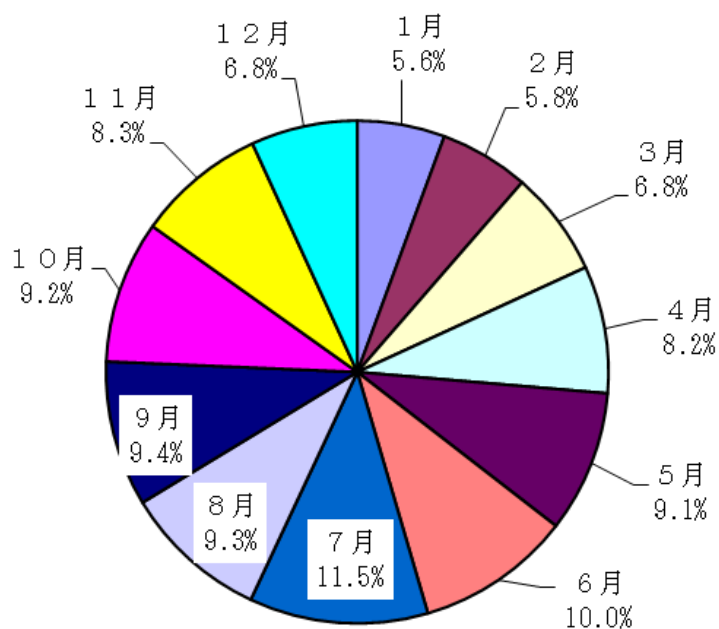


図2 月別活動回数(割合)

(2) 清掃活動を実施した場所別の清掃距離(面積を含む)と参加人数

清掃活動を実施した場所別の清掃距離(面積を含む)と参加人数を表 2 に、清掃活動を実施した場所別の参加者数の割合を図 3 に示す。

清掃活動の参加者人数は、約 59 万人(令和 4 年及び令和 5 年は約 61 万人)であった。参加人数を活動場所別にみると、海岸(約 53 万人)と河川(約 5 万人)での活動が多く、この 2 つをあわせると全参加者数の殆ど(97%)を占めた。

清掃距離は、海岸が 22,389km、河川が 913km、湖岸が 126km であった。また、海域(海上)の清掃面積は 638km²、湖域(湖上)の清掃面積は 52km² であった。

表 2 清掃活動実施場所別の清掃距離(面積を含む)と参加人数

		全体	海岸	海域	河川	湖岸	湖域
参加者数(人)		591,205	526,114	5,442	49,624	7,539	2,486
清掃距離	距離(km)	23,429	22,389	—	913	126	—
	面積(km ²)	690	—	638	—	—	52

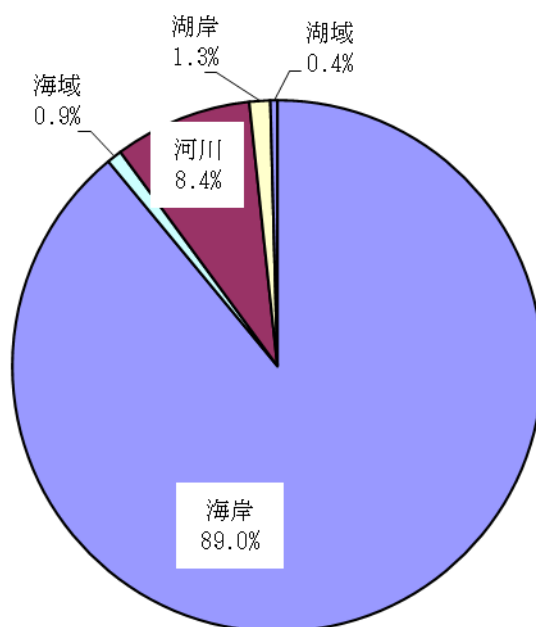


図 3 清掃活動実施場所別の参加者数(割合)

(3) 清掃活動参加者の構成

清掃活動参加者の構成を図4に示す。

清掃活動参加者の内訳は、成人男子が54.8%、成人女子が24.0%、大学生が1.2%、中・高校生が11.0%、小学生以下が9.0%であった。

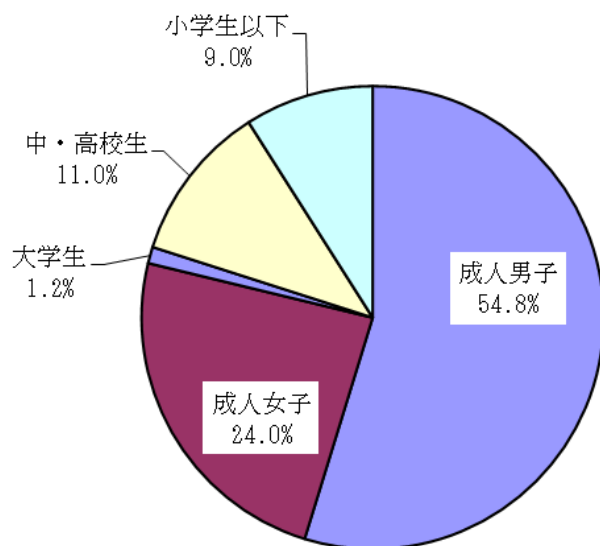


図4 清掃活動参加者の構成割合

(4) 主催団体別の清掃活動参加者数

主催団体別の清掃活動参加者数(割合)を図5に示す。これを見ると、1位は「行政」で全体の約4割(37.1%)、2位は「地域関係」で全体の約2割(18.0%)を占めており、この2つの団体が開催(主催)した清掃活動だけで、清掃活動参加者全体の約6割(55.1%)を占めていた。

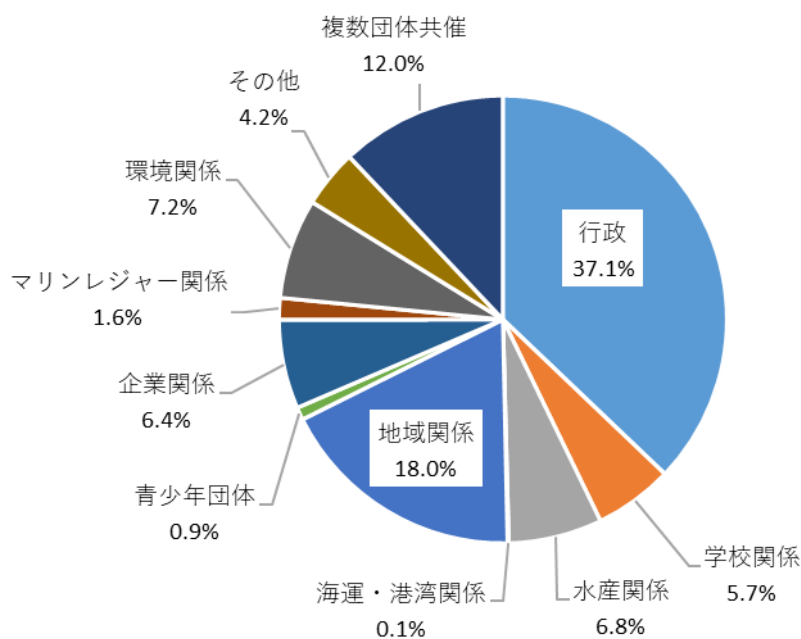


図5 主催団体別の清掃活動参加者数(割合)

(5) 清掃活動団体の動員数(1,456 団体が回答)

令和6年に海岸等水辺の清掃活動に参加した団体について、動員数別団体数を図6に示す。内訳を見ると、動員数50人未満の団体は全体(1,456 団体)の57.1%、50～100人未満の団体は17.7%、100～500人未満の団体は20.8%、500人～1000人未満の団体は4.4%、1000人～10000人未満の団体は1.9%、そして10,000人以上の団体は0.1%であった。

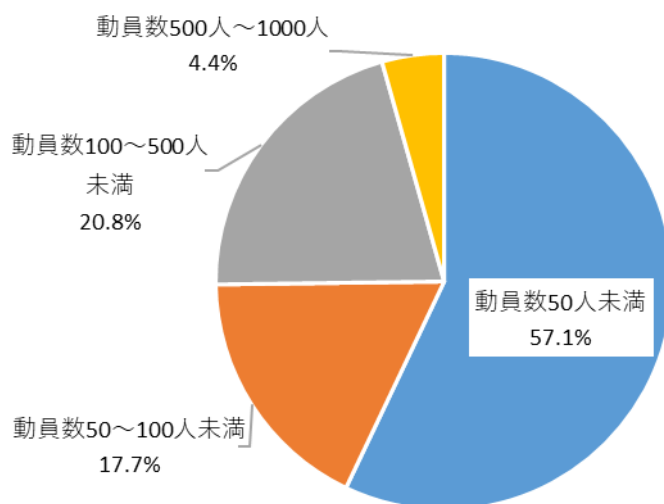


図6 動員数別団体数(割合)

(6) 清掃活動で回収したごみの処分方法(複数回答)

清掃活動で回収したごみの処分方法(依頼先)を表3に示した。

依頼先で最も多かったのは「行政」で2,918件(80.1%)であった。

その他の依頼先としては「民間」と「その他」があり、このうち「民間」は608件(16.7%)、その他は119件(3.3%)であった。

表6 回収ごみの処分方法(依頼先)

行政	民間	その他	実回答数
2,918 件 (80.1%)	608 件 (16.7%)	119 件 (3.3%)	3,592 件

(7) 団体の活動年数（回答数 737 件）

清掃活動年数を表 4 及び図 7 に示す。清掃活動を行う団体の活動年数をみると、回答数の 21.6%が 5 年未満、6.3%が 5 年以上 10 年未満、23.0%が 10 年以上 20 年未満、49.2%が 20 年以上であった。このことから、長年に亘り継続して清掃活動に取り組んでいる団体が多い（10 年以上 72.2%）中、新たに清掃活動に参加する団体も着実に出てきている（5 年未満 21.6%）ことが分かる。なお、活動年数の最長は 28 年（20 年以上と回答した者を除く）、最短は 1 年であった。

表 4 団体の活動年数

5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 20 年未満	20 年以上
179 件 (21.6%)	52 件 (6.3%)	191 件 (23.0%)	408 件 (49.2%)

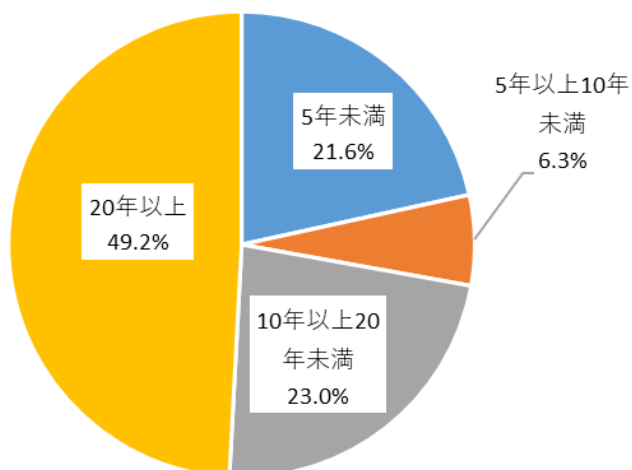


図 7 清掃活動を行った団体の活動年数

(8) 回収したごみの種類と量

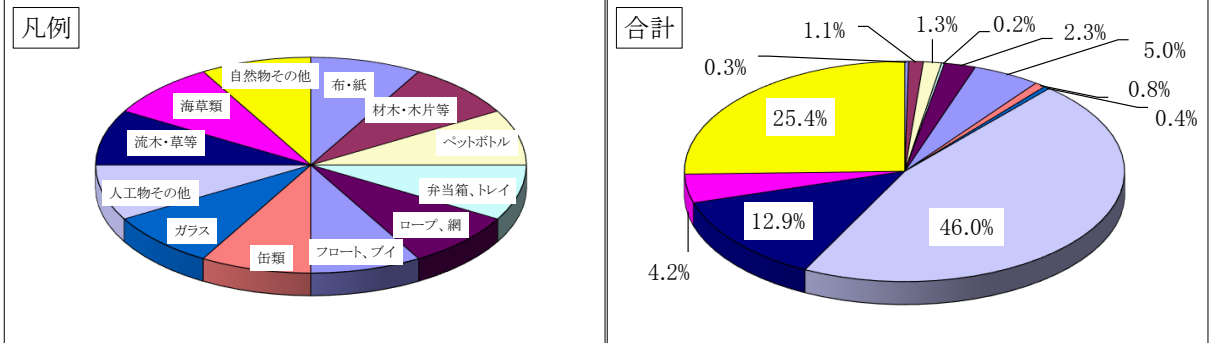
清掃を実施した場所別のごみ回収量及びその種類は、表5のとおりであり「種類を把握しているごみ」と「種類を把握していないごみ」を合計した場合の人工物と自然物の割合(比率)はおおよそ6:4であった。

表5 種類別のごみ回収量

単位：m³

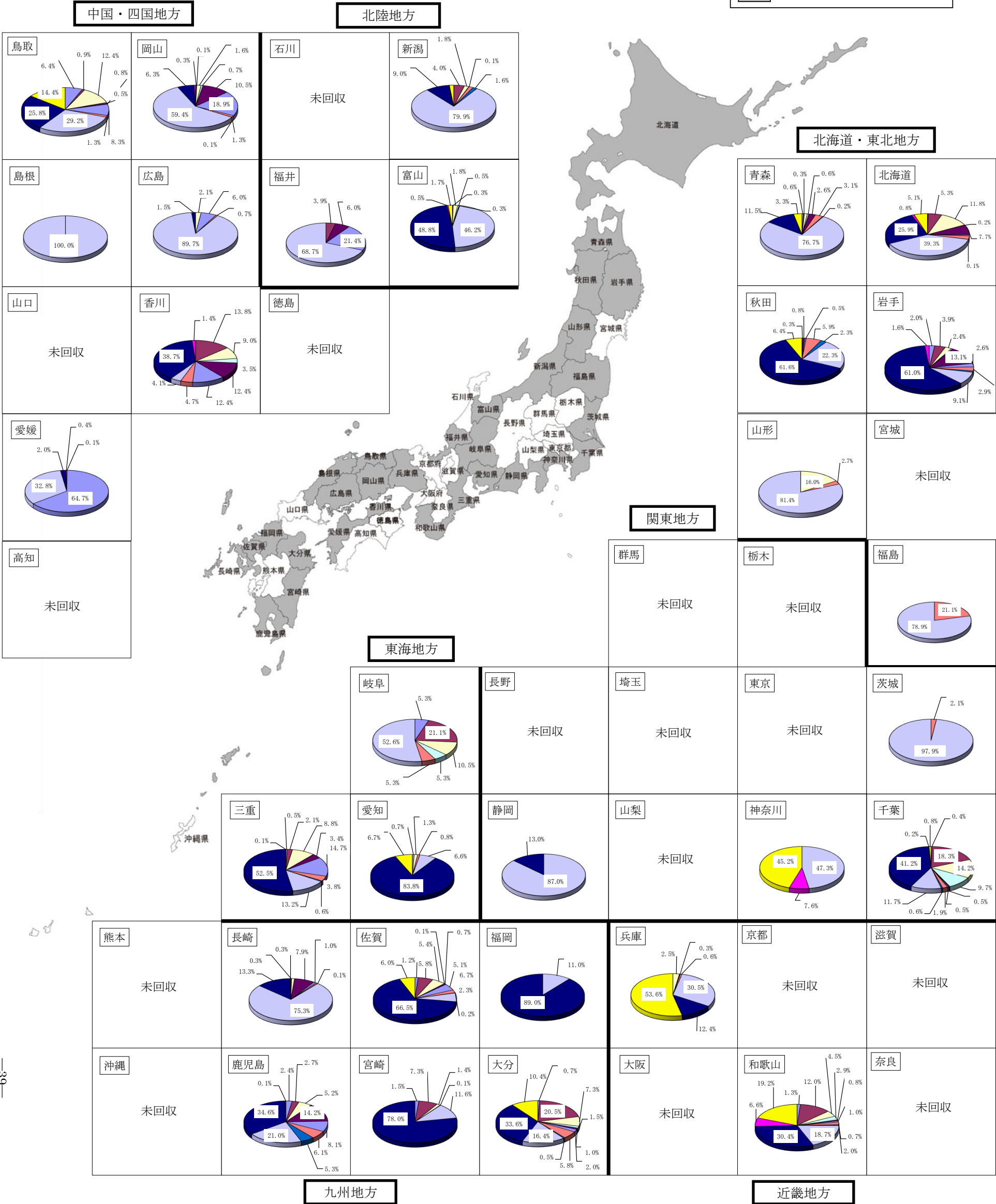
項目	種類	全体	海岸	海域	河岸	湖岸	湖域
種類を把握しているごみ	布・紙	98 (0.3%)	80 (0.2%)	0 (0.0%)	19 (1.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	材木、木片等	384 (1.1%)	309 (0.9%)	13 (2.6%)	61 (5.2%)	1 (2.7%)	0 (0.0%)
	ペットボトル	477 (1.3%)	434 (1.3%)	16 (3.1%)	25 (2.1%)	2 (5.3%)	0 (0.0%)
	弁当箱、トレイ	76 (0.2%)	69 (0.2%)	0 (0.0%)	6 (0.5%)	1 (2.7%)	0 (0.0%)
	ロープ、網	822 (2.3%)	813 (2.4%)	8 (1.5%)	0 (0.0%)	1 (2.7%)	0 (0.0%)
	フロート、ブイ	1,782 (5.0%)	1,772 (5.2%)	8 (1.6%)	1 (0.1%)	1 (2.7%)	0 (0.0%)
	缶類	289 (0.8%)	255 (0.8%)	7 (1.4%)	21 (1.7%)	2 (5.3%)	5 (5.9%)
	ガラス	153 (0.4%)	147 (0.4%)	0 (0.0%)	6 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	人工物その他	16,449 (46.0%)	15,691 (46.3%)	170 (33.4%)	505 (42.7%)	17 (44.3%)	67 (85.9%)
	人工物計	20,531 (57.5%)	19,570 (57.7%)	221 (43.6%)	644 (54.5%)	25 (65.5%)	71 (91.9%)
	流木	4,607 (12.9%)	3,972 (11.7%)	106 (20.9%)	515 (43.5%)	11 (29.2%)	3 (4.3%)
	海草	1,506 (4.2%)	1,501 (4.4%)	4 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	自然物その他	9,079 (25.4%)	8,875 (26.2%)	176 (34.6%)	23 (1.9%)	2 (5.3%)	3 (3.9%)
種類を把握していないごみ	自然物計	15,192 (42.5%)	14,348 (42.3%)	287 (56.4%)	538 (45.5%)	13 (34.5%)	6 (8.1%)
	小計	35,723 (100.0%)	33,918 (100.0%)	508 (100.0%)	1,182 (100.0%)	38 (100.0%)	77 (100.0%)
	人工物ごみ	1,143 (5.2%)	1,093 (5.1%)	9 (45.5%)	41 (5.3%)	0 (0.0%)	0 -
	自然物ごみ	531 (2.4%)	266 (1.3%)	10 (54.5%)	255 (32.7%)	0 (0.0%)	0 -
	総量のみ把握	20,384 (92.4%)	19,874 (93.6%)	0 (0.0%)	483 (62.0%)	27 (100.0%)	0 -
	小計	22,058 (100.0%)	21,234 (100.0%)	19 (100.0%)	779 (100.0%)	27 (100.0%)	0 -
合計		57,782 -	55,152 -	527 -	1,962 -	64 -	77 -

注：各欄の値は四捨五入してあるため、人工物計・自然物計・合計はその内訳の合算値と一致しない場合がある。



清掃活動の規模	
清掃距離	23,429 km
清掃面積	690 km ²
清掃人数	591,205 人
種類を把握しているごみ量	35,719 m ³
種類を把握していないごみ量	22,058 m ³
ごみ回収量合計	57,777 m ³

□ : 回答が得られなかった都道府県
■ : 回答が得られた都道府県



注) グラフはごみの種類別回収量の報告があるデータから作成している。
グラフが線状になっている場合、ごみの種類別回収量の報告がないことを表す。